

日本電子キーボード音楽学会 第11回全国大会
 スケジュール 2015年11月15日(日) 東京学芸大学
 参加費(会員、非会員) 1,000円 学生 500円(含、懇親会費)

10:00	《受付》*ポスターセッション(芸術館ロビー) 午前会場 芸術館「学芸の森ホール」		
10:30	ごあいさつ 増田金吾(東京学芸大学副学長) 出田敬三(学会代表)		
10:45	基調講演 ドイツ語圏のピアノ教育におけるテクノロジーの活用 ロルフ・ブラッグ(ピアニスト、ザルツブルグ・モーツァルテウム大学教授) 話題提供:ハン・ヨンヒ(ソウル教育大学) 進行・通訳:中地雅之(東京学芸大学)		
11:30	総会		
12:00	昼食 *ポスターセッション2号館(3F)廊下		
	パネルディスカッション		ラウンドテーブル
	音楽教育講義室1(3F)	音楽教育ML教室1(3F)	音楽教育講義室2(3F)
13:00 14:30	電子オルガン関連 ・日本とアジアの電子オルガンコンクールーコンクールから見えてくる電子オルガンの今後ー パネリスト:市川侑乃(ヤマハ)、森田知恵(カワイ)、曾夢(上海音楽学院)ほか 司会:柴田 薫、金銅英二 書記:森松慶子	ML(Music Laboratory)関連 ・電子キーボードによるアンサンブルの現状と今後の方向性 パネリスト:初山正博(世田谷区立守山小)、西林博子(平成音大)、マーク・マンノ(台湾・東海大学)、ハン・ヨンヒ(ソウル教育大) 話題提供:中地雅之(東京学芸大) 司会:田中功一、小倉隆一郎 書記:脇山 純	タテ線譜メソッド関連 ・タテ線譜メソッドとは何か-Iー多方面からその可能性を探るー 話題提供者:和智正忠(医学・音楽研究家)、齋藤康之(木更津高専)、友永和恵(平成音大)、秋谷万里子(和幸楽器)、五十嵐優(昭和音大付属音楽)、垣浪文美香(学芸大大泉小) 司会:阿方 俊 書記:小澤真弓
	休憩(10分)		
	研究発表		
	音楽教育講義室1(3F)	音楽教育ML教室1(3F)	音楽教育講義室2(3F)
	司会:森下絹代 書記:西山淑子	司会:脇山 純 書記:田中功一	司会:小澤真弓 書記:秋谷万里子
14:40 15:20	・研究発表① 曾夢(上海音楽学院・昭和音大) 中国の電子オルガン界の現状ー2014~15年の活動を通してー	・研究発表② 上出美希(東京都三宅村立中学校) iPadを用いたグラフィックと音楽の創作実践	・研究発表③ 齋藤康之(国立木更津工業高専) タテ線譜による若年層のピアノ演奏ーピアノ演奏への心理的距離の短縮ー
	小休憩(5分)		
15:25 16:05	・研究発表④市川侑乃(電子オルガン演奏) 電子オルガン音楽のオリジナル作品のあり方を考える	・研究発表⑤ 赤津裕子(竹早幼稚園教員保育士養成所) M.L.システムを通じた初心者ピアノ指導の試み-2	・研究発表⑥ 阿方 俊(昭和音大)、友永和恵(平成音大) タテ線譜メソッドの現場ーブラインドタッチと五線譜への移行ー
	小休憩(5分)		
16:10 16:50	・研究発表⑦ 中村真貴、西林博子(平成音楽大学) 本学ハイブリッドオーケストラの歴史の中にみる「魔笛」公演	・研究発表⑧ マーク・マンノ(東海大学) アメリカのML教材、ハン・ヨンヒ(ソウル教育大学) 韓国のML教育とコンサート	・研究発表⑨ 和智正忠(医学・音楽研究家) 音楽活動が健康へ及ぼす影響について
	小休憩		
17:00	《研究コンサート》 芸術館「学芸の森ホール」		
17:45	テーマ:一段電子キーボードによるハイブリッド・オーケストラの可能性 演奏者:ロルフ・ブラッグ、高澤ひろみ(東京学芸大学教授)、椎野伸一(同) 東京学芸大学学生・大学院生、企画・指導:中地雅之 曲目:W.A. モーツァルト《3台のピアノのための協奏曲「ロドロシ」へ長調 KV 242》 P.I. チャイコフスキー《バレエ組曲「くるみ割り人形」Op. 71aより 和泉宏隆《宝島》 A. シルヴェストリ《Back to the Future》		
	休憩(15分)		
18:00	《懇親会》 会場:20周年記念飯島同窓会館(2F)		